

♣ 指数関数と対数関数の導関数

定理. (指数関数と対数関数の導関数) e を自然対数の底, a を 1 以外の正定数とするとき, 次の公式が成り立つ。

$$[1] \quad (e^x)' = e^x$$

$$[2] \quad (a^x)' = a^x \log a$$

$$[3] \quad (\log x)' = \frac{1}{x}$$

$$[4] \quad (\log_a x)' = \frac{1}{x \log a}$$

$$[5] \quad (\log |f(x)|)' = \frac{f'(x)}{f(x)} \quad ([3] \text{ の一般化})$$

定理.(指数関数と対数関数の導関数) の証明.

$$\begin{aligned} (1) \quad (e^x)' &= \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^{x+h} - e^x}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^x(e^h - 1)}{h} \\ &= e^x \lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^h - 1}{h} \quad (\text{ここで, } t = e^h - 1 \text{ とすると } h \rightarrow 0 \text{ のとき } t \rightarrow 0) \\ &= e^x \lim_{t \rightarrow 0} \frac{t}{\log(1+t)} \\ &= e^x \lim_{t \rightarrow 0} \frac{1}{\frac{1}{t} \log(1+t)} \\ &= e^x \lim_{t \rightarrow 0} \frac{1}{\log(1+t)^{\frac{1}{t}}} = e^x \frac{1}{\log e} \\ &= e^x \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (2) \quad (a^x)' &= (e^{\log a^x})' = (e^{x \log a})' = e^{x \log a} \cdot (x \log a)' = e^{\log a^x} \cdot \log a \\ &= a^x \log a \end{aligned}$$

(3) $y = \log x \iff e^y = x$ に注意すると, 逆関数の微分法により

$$(\log x)' = \frac{dy}{dx} = \frac{1}{\frac{dx}{dy}} = \frac{1}{\frac{d}{dy} e^y} = \frac{1}{e^y} = \frac{1}{x}$$

$$(4) \quad (\log_a x)' = \left(\frac{\log x}{\log a} \right)' = \frac{\frac{1}{x}}{\log a} = \frac{1}{x \log a}$$

問. 次の関数を微分せよ.

(1) $y = e^{3x+2}$

(2) $y = 2^{-x}$

(3) $y = xe^x$

(4) $y = \log 2x$

(5) $y = x^2 \log x$

(6) $y = (\log x)^3$

(7) $y = \log |3x - 2|$

(8) $y = \log |x^2 - x|$

♣ 導関数の応用：その1

接線の方程式 曲線 $y = f(x)$ 上の点 $(a, f(a))$ における接線の方程式は

$$y = f(a) + f'(a)(x - a)$$

♣ 導関数の応用：その2（関数の極大・極小）

定理 7.1 関数 $f(x)$ は区間 $[a, b]$ で連続で、区間 (a, b) で微分可能とする。このとき $f(x)$ が $[a, b]$ で単調増加（単調減少） $\iff (a, b)$ において $f'(x) \geq 0$ ($f'(x) \leq 0$)

定義（極大・極小） 点 c を含む十分小さい开区間において、任意の $x \neq c$ に対し、

$$f(c) > f(x) \quad (f(c) < f(x))$$

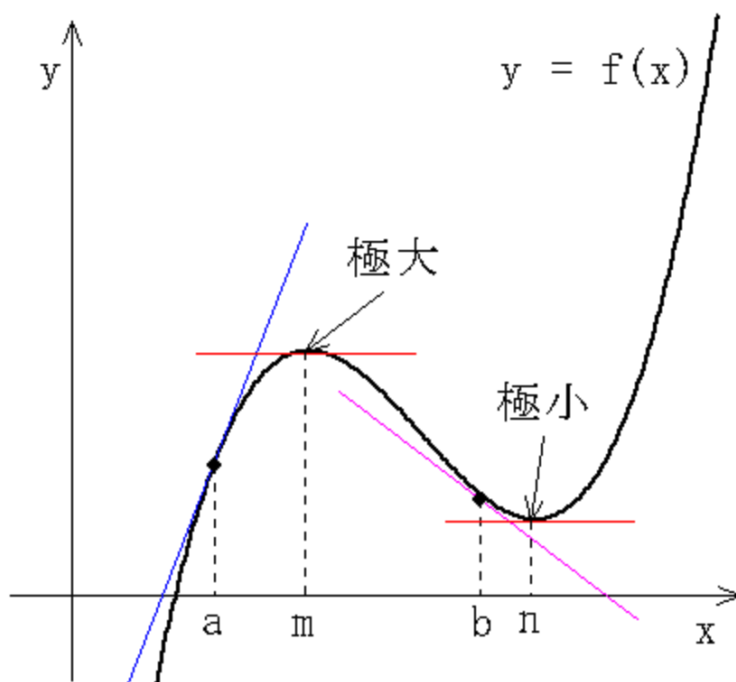
が成り立つならば、 $f(x)$ は $x = c$ で極大（極小）であるといい、 $f(c)$ を極大値（極小値）という。極大値と極小値を総称して、極値という。

極値をとるための必要条件 $f(x)$ が $x = c$ で極値をとるならば、 $f'(c) = 0$

Remark 上記の対偶をとると

$f'(c) = 0$ をみたさない点 c では、 $f(x)$ は極値をとらない

極値の判定法 $f(x)$ が微分可能で $f'(c) = 0$ であるとき、 $x = c$ を境目として $f'(x)$ の符号を調べれば、極値を判定することができる。



問 2 曲線 $y = \log x$ 上の点 $(e, 1)$ における接線の方程式を求めよ。ただし、 e は自然対数の底である。

問 3 関数 $f(x) = xe^x$ の極値を求めよ。